十一日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢　□郵　税　金十五錢　□一部　賣　金三錢
□廣告料一行　金六十錢　□雜報　欄　金九十錢　□場所指定一行　金一圓
□電話（本）七八六番　□振替口座東京一〇六三三番
福島縣第三四四番
發行所　磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人　春合　英

委員の顔に意外の感

隣り組　杞憂生

山野邊の四名を擧げて居るさうです

その何れも職能代表に足る人々で團体代表としても何等不思議はないところですが、市會の正副議長が市會を代表せず、警防團長を學識者に擧げ他の市議を警防代表にするなど、何となく市會議員を多く入れる爲に苦心されたやうな印象を與へるのはどうしたことでせう。

何れにしても市會議員は全市民の選んだ代表であることに間違ひありませんから、他の非難を受けぬやう、市民のために御活動を願ひたいものです。

平市常會委員五十名の顔振れを見まして一寸意外の感に打たれましたのは、市會議員二十三名の多數に上つてゐることであります。『定員の三分の一に當る十名を越えることを得ず』とあつたと記憶してゐたのにこれはどうしたことでせう、委員に選ばれた友人の説明に依ると

市會議員代表は酒井、鈴木（庫）吉田（五）大谷、吉田（寅）永山、多田井、鈴木（庄）矢吹（龜）矢吹（初）の十名で、この他十三名が團体代表と學識經驗者であるとか

即ち團体代表は野崎（自動車）菅本（米穀）萩原（齒科）川崎（少年團）金古（新聞記者）吉村（製綿）藤田（郷軍）鈴木（警防）松本（産組）學識經驗者に關内、蓮沼、大嶺、

文藝

智に働けば角が立つ
情に棹させば流される、意地を通せば窮屈だ（漱石）

暮鳥氏と私（下）

鵜沼孝昌

氏の詩は一度詩集を出版したが平市には永くゐた割合に知られてゐない。左の詩は茨城縣教育會出版の「女子青年」に出てゐる。大正の中頃かいたものだらうが永遠性の作たることはいふまでもない。

日本

日本、うつくしい國だ
葦の葉つぱの
朝露がぽたりと
おちてこぼれてひとしづく
それが
此の國となつたのだとでも
言ひたいやうな日本
大海のうへに浮いてゐる
かあいらしい日本
うつくしい日本
小さな國だ
小さいけれど
その強さは
鋼鐵のやうな精神である
おゝ日本
ぴちぴちしてゐる魚のやう
な國
勇敢な日本
古い日本
その霧深い中にとぢこもつて、
山鳥の尾のながながしいゆめをみてゐたのも
いまはもうむかしのことだ
目をあげて
そこに
どんな世界をお前はみたか
日本、日本
お前のことをおもふと
此の胸が一ぱいになる
お前は希望にかがやいてゐる
お前は力にみち〜〜てゐる
そして眞劍だ
だが日本よ
お前の道はこれまでのやうに
もうあんな平坦なものではあるまい
お前はよるひる絶えず
お前のまはりに打寄せてゐる
その波の音をなんときいてゐるか
寂しくないか
おゝ孤獨な
遠い一つの星のやうな日本
からりとはれた黎明の天空のやうな國
とき〜〜は通り雲の
さつとかゝることはあつても
おまへはただいちどでも
その顏面は泥をぬられたことがないんだ
そんな美しい國なんだ
日本
幸福な日本
強い日本
わたしらは此處で生れたんだ
また此處で最後の息もひきとつて
遠祖らと一しよになるんだ
墳墓の地だ
靜かな國、日本
小さな國、日本
つよくあれ
すこやかであれ
奢るな
日本よ
眞實であれ
馬鹿にされるな

短歌

本社文藝部選

白き蛾

（二本松）　田中吉太郎

電燈のたまに寄來る白き蛾の羽音靜かに夜のふけゆくさ夜更けて密柑をむけば强き酸空きたる腹に寒くしみこむ

（茨城）　高瀨まき子

歸省せる友の言葉に故郷の訛のなきが淋しかりけり

連續講談　異說赤穗浪士

桃川若燕　城本喬　〔97〕　奥山兒物　畫

『ぢやァ入らう』

その時分奥山にはこれと云つて食べる店はなかつた。漸く餅屋とか汁粉屋とかがあつた位のもの、忠兵衛は理吉を連れるとそれへ入つた。

『サア理吉、遠慮なく食べろ』

『ハイ』

自分も食べてから忠兵衛は口直しに蕎を呑んでゐる、と理吉は、

『旦那樣に改めてお願ひがございます』

『何んだ、改めて願ひと云ふのは——』

『他ではありません、緣あつて兩國で救はれてから身元請人もない私をお引取り下さいまして、四季の衣類の調達から小遣まで惠んで下さいまして丁度四年經ちました……』

『ハイ』

『人多き人の中にも人ぞなき人になれ人、人になせ人と云ふ歌がある、お前は人になるぞ、怜悧者だ』

と忠兵衛も口を極めて賞めてゐる。

するとその傍に粗い縞の袷を着て、八端の二重廻し、銀鎖の火はたきのついた唐桟の大きな蕎入れ銀の煙管でプカリ〜〜蕎を呑んでゐた一人の男がそれへ出て來ると、

『旦那、御免下さいまし、此の小僧さんは悧怜者だね、今の話しを濟まねえけれど小哥は聞いちまつてね、涙がこぼれましたよ、と云ふのは此の子を小哥は知つてるんだ、忘れもしねえ四年前兩國の廣小路で町内の悪い餓鬼に取捲かれ巾着切だ〜〜と大勢に打毆られた。大層な人盛りだつた余り可哀想なので口を利いてやらうと思つてゐると仲に入る人があつて助けてやつた。彼のときの小僧だ。旦那はよく使つてやつて下すつた。小哥は今の一言を聞いて感心しましたぜ。旦那のところには小僧さんも大勢居なさるでせうから、どうか此の子を小哥にお呉んなさい、イエネ、此ハ子を小僧にするんぢやねえんで、もう少し經つと年頃になる娘があるので娘と一緒にしてえんで』

『ヘエー』

何處の何んと云ふ者とも云はなければ職業も云はない無作法な者だと忠兵衛は吃驚して目をパチパチしてゐる、と隣座敷から出て來た一人の武家、

『アイヤ町人』

『ハイ』

『只今承はつて居たが、イヤ感心なものだ吾等子がない故斯う云ふ怜悧な子を貰つて吾子としたい顏を見ると失禮だが、侍顏をしてゐる、どうか手前の養子に下さるまいか』

「貯蓄は無盡で」
三行圓
一歩一歩が空の山
社交お淋しくならぬうち
無盡ひましよう今のうち
磐城無盡

肉の御用命は
三三三屋
牛も豚も優良品の自慢

ホシ　ミクロゼ
1家族1個常備の
胃腸強生ピルツ劑
☆タイプ
☆ホシ
健康を生産する
ミクロゼは、酵母以上に生存力が強靭で、消化酵素を多量に産生する日本固有のピルツ（有効菌）と、アミノ酸・ビタミンを始め各種榮養素とを豐富に含む胃腸強生劑であります。故に、食慾を旺盛にし、正確・自然な便通をもたらし、榮養の吸收、附加を助け、逞しい健康を生産するのであります。
特に、左記症狀の方々に好適
各種胃腸疾患　食慾不振　常習便秘　結核諸症　脚氣諸症　腎臟炎　姙婦榮養補强
製創生先郎次豐島豐・醫學博士
一ヶ月分・三六〇錠一圓五〇錢
全國有名藥店にあり
東京・五反田
☆星製藥株式會社

磐城毎日新聞社
印刷物
ポスター　パンフレット　ビラ　帳簿類
一切

病室增築、手術室完備
產婦人科　醫學博士　五十嵐雄二
平市新田町「電話二六九番」

附屬產院　新設
姙產婦入院隨意
產婦人科　木村病院
平市新川町　電話一六四番

お醬油は
味噌、醬油　たひら正宗　鰹節、食料品
塩屋　山崎合名會社
福島縣平市　電話本店二七番　電營業部一〇番
明治生命磐城代理店　山崎與一郎

日の出醸造　醤油　元　綠屋商店
小名濱町（電話二十九番）
千代田生命保險相互會社
富國徵兵保險相互會社
日產火災海上保險株式會社
代理店

割烹　はまや
小名濱公園内
電

日立製作所指定工場
機械製作舶陸
一般鐵工業
丸八鐵工場
場主　倉兼常八
小名濱町　電一七五

債券、公債
両替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

始めまして
ゆであづき　おでん　お志るこ
大衆向きの　奥の松
小名濱町中島

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士　佐々木三郎
泉村小學校前　電話一番

宅の体温計は正確ですか？
毎月十日は無料で体温計を檢査して差上げます、どうぞ御遠慮なくに持ちなさい
營業課目
醫療器　有名藥品　食糧品　寫眞機材料　化粧品　染料　塗料　吸入用酸素　計量器各種
計量器指示販賣所　みつこ染特約店
養生堂
小名濱町本町通り　電一四七

休まずに働く 興亞奉公日

享樂業者も自肅と勤勞作業

興亞奉公日を從來の一日から事變記念日　七日に變更すべしの聲が相當大きく、翼贊會でもこの問題を取り上げて再檢討を加へつゝあつたが九日開かれた常任總務會では從來の通り『毎月一日を興亞奉公日』とすることを一掃する』ことと根本精神を是正せしむることに成つた

常任總務會へ提案されて確定した奉公日修正案は次の如く從來休養日の如き感を與へた奉公日を增產模範日とした點は相當進歩の跡が見られる

奉公日は一日そのまゝ、たゞしこの日を消極的休日の傾向から積極的勤勞增產日とすることになつた、たゞし勤勞增產日のすることによつて他の日を勤勞增產の日でないかの感を與へては大變と『勤勞增產の模範日とする』

そこで如何にして勤勞增產の日とするかは各職場一時間早出、一時間勤務延長、或ひは特にこの日、空閑地利用と勤勞奉仕を强調するなど、具體的細目は各地方長官に一任する、待合、料理店などの消費面の休日は從前どほりだが魚屋、八百屋などの休みは斷然廢止させる

同時にこの日は夜ラヂオ放送に『興亞奉公日の時間』を持たせるなど大體の方針を決定、二月一日の奉公日から實施することになつた

從つて內閣告諭の變更もないわけである

議會は十三日から四日神宮外苑日本青年館で開かれるが石城と平から左の四氏出席する

△石城、副郡農會長金成淺吉、青山技師△平市、農會副會長藥谷藤太郎氏、技手渡邊佐七

平市役所の

ミルク劵交付

一月中の乳幼兒用乳製員購入票は近く市役所から交付することになり各常會を通して申告方を督勵した

享樂業も出直して 公共事業に奉仕

新田町の花柳界想を練る

別項の如く興亞奉公日は〝增產日〟として再出發することになつたが、享樂營業方面の指導については具體的に決定を見ず、地方的にその狀況を酌量實施することになるが享樂營業に對しては、一般に穿き違へた觀念を是正する爲休日を十六日と定め『奉公日には自肅すべし』と達してあるが今後は更に積極的に公共的な奉公作業を指導しこの日には一名も遊んでゐる者のないやうに改善することになるらしい、右について平藝妓組合の幹部は語る

奉公日には從前共自肅して來ましたが、今後は上から命じられるまでもなく、この日を公共的な仕事を行つて有意義ならしむるやう研究して見るつもりです

洋食屋さんの興亞奉公日

一日公共作業を計劃

平西洋料理業組合でも興亞奉公日を有意義に活用すべく毎月一日の行事を決定することに成つた、森川組合長は計劃を語る

休日は外に定められてあるのですから奉公日には戰歿勇士の墓所を淸掃するとか或ひは敬神思想を普及する爲神社參拜、境內を掃き淸めるなど公共作業を恒例に行ふ考へで、組合員とも相談の上決定致します

畜牛共進會

石城畜牛組合

平支部主催の畜牛共進會は十二日午前十時から平窪信用組合前で開催するが出場頭數六十頭の見込である

食糧增產の技術會議

郡市の出席者決定

食糧增產に關する技術動員協議は進退兩難に追ひつめられた形となつてゐる

それで本年の揚繰漁船は、どんな成績を示してゐるかを、調査の結果、左程昨年に劣らず、第一位の共德丸（儀助）三十萬圓余第二位の機運丸（城十郎氏）大勝丸（三代義勝氏）二十五萬圓近の成績、第三位壽和丸（酢屋）二十二萬圓內外第四位運德丸（芳賀金太郎氏）山祇丸（藤祉大一氏）の十八萬圓內外最低で十五六萬圓は漁獲してゐる關係上小名濱揚繰業者としては決して惡い年ではなく、揚繰業者も加工業者も二十日足らずの舊年末の最盛漁期を眺め日和の關係が良否を決定することになるため毎日の天候には濱を睨げて神經過敏となつてゐる

農事倉庫の不足から 管理米の收納延期か

石城、平の收容力は三分の一

農產物平支所では十一月一日から實施された果穀國家管理で轉手古舞をしてゐる、同所管內に於ける米の生產高は大休五十四萬俵で管理米卅六萬俵を見込み來二月末までは片付ようとしてゐるが管內に農業倉庫を見もつものは、廿余ケ村に止まり而かも自產自容に足るものは大浦村のみで現在の農倉では前記三十萬俵の三分の一を容れるほどの力もない、その爲め原則として農業倉庫に於て行ふべき檢査を各所の集合檢査に夥い煩しさがある上に內鄉村の如きは全部生產者の保管に託し其の他は民家の倉庫を借りて管理倉庫に充てゝある有樣で管理施行初年度の事情もあり異常な忙殺に當面してゐるので二月末の處理終了は六ケ敷からう云はれてゐる、尙ほ農業倉庫を有せざる町村は次の如くである

▲內鄉　赤井　豊間　小名濱　三坂　澤渡　川前　永戸、箕輪　入遠野　岡人（以上十ケ町村）

今年の漁を決める 廿日間の天候

沿岸の揚繰漁業は一月に入つて以來、日和に惠れず一日出漁すれば二日休みの狀態で出漁すれば必ず豊漁の鰯群を眼前に見逃してゐる有樣で業者は髀肉の嘆をかこつてゐる、爲めに鰯〆粕製造業者としても大漁續きの安籠待ちが當はづれとなり舊年末を控へて余剩勞力を煩刺鰯集中した爲め生產過剩となり市場は煩刺し鰯の山、値段は下押一方で各濱は進退兩難に追ひつめられた形となつてゐる

それで本年の揚繰漁船は、どんな成績を示してゐるかを、調査の結果、左程昨年に劣らず、第一位の共德丸（儀助）三十萬圓余第二位の機運丸（城十郎氏）大勝丸（三代義勝氏）二十五萬圓近の成績、第三位壽和丸（酢屋）二十二萬圓內外第四位運德丸（芳賀金太郎氏）山祇丸（藤祉大一氏）の十八萬圓內外最低で十五六萬圓は漁獲してゐる關係上小名濱揚繰業者としては決して惡い年ではなく、揚繰業者も加工業者も二十日足らずの舊年末の最盛漁期を眺め日和の關係が良否を決定することになるため毎日の天候には濱を睨げて神經過敏となつてゐる

能率增進のため 課制度實施

小名濱町役場の新体制成

小名濱町役場では事務刷新の爲既報の如く課制を實施することになり五課に區分し各課長以下職場を左の如く決定した

◇庶務課、主任小泉安雄

各分擔

小泉（庶務、警防）大浦〃小野（巳）（文書、海事）、小野コト（勤務）

◇學務課、主任坂本欽一郎

坂本（學務、戶籍）村上、（兵事警防、松本（國体、寄留）馬上（勤務）

◇產業課、主任齊藤昇一

齊藤（社會、衛生、警防）佐藤（農會、勸業）小泉（誠治）（社會、統計）

◇財務課、主任長瀨國三郎

長瀨（町稅、都市計劃、警防）高木（水道）橋本（國稅）野崎（町稅）伊藤（縣稅）

◇土木、水道課、主任井上

井上（土木）馬上（都市計劃）片山（水道）

台ごころに響く 野菜類の動き

舊正に出廻るが値は高い

〝野菜が無い……〟近頃お台所の悲鳴だが平青果業組合に野菜の出廻りと相場を聽くと例年に珍らしい暖い陽氣に野菜も相當活潑な出廻を見せてゐるとは云へ約五割減の一千六百五十四貫（六目）で公定値の出來た今日では普通の出廻りとも言へる相場は（十貫匁）△馬鈴薯四十錢△薩摩薯三十七錢△赤ギ二十錢から二十五錢△大根六錢から十錢△人參二十錢より二十五錢△牛蒡四十五錢から五十錢△さと芋五十錢△ホーレン草四十錢から四十五錢△白菜十五錢より十七錢△平薯一圓△あぶら菜十錢△千大根十八錢から二十二錢と成つてゐる、うち公定一ぱいで取引されてゐるものは薩摩薯、馬鈴薯、さと芋、ホーレン草、平芋等である、

元來薩摩薯、馬鈴薯等は縣外より移入してゐたもので移入停止と共に品不足を來し前記公定一ぱいの引り爪と成つたもの、尙ほ里芋、平芋等は公定で抑さへられたため耕作者が減つたのに原因がある、今後の野菜果實の相場豫想を聞くと來る舊正月には青果類は値段もグンと上つてお台所に澤山お目見得するでせうと品不足緩和を保證してゐる

嬰兒遺棄事件

行方不明の懷姙者を捜査中

石城郡下小川村大字關場字高垣地內（小川江筋と夏井川の中間頃松林）に新聞紙に包んだ女の嬰兒死体發見され平署の中澤司法主任以下司法部全員出動、立川檢事、三澤豫審判事は安齋醫師を同伴現場に急行死体解剖の結果

分娩後鼻口を壓して殺害した形跡もなく不義の子を宿して臨月を控へ思案に余つて歩行中陣痛を起し生み落した爲處置に窮してすて去つたものと見られてゐる、

この事件と相前後し行方不明と成つた平市平窪の某女（三つ位特に名を秘す）は懷姙して臨月に近かつた爲平署では極力同女の行方を捜査してゐるらしく或ひは生み落して間もなく自殺したものであるまいかと安じられてゐる

第四區教員總集會開く

石城第四區教員總集會は明十二日午前九時より草野小學校に開き本縣女子師範附屬小學校北原操訓導の國民學校に關する講話がある

優良徒弟表彰

つてゐる

平署管內理髮業者平理髮營業者組合總會は十日平署會議室で開き左記優良營業者並に徒弟の表彰を行つた

△優良營業者伊藤正恒（平）飯塚信一郎（同）渡邊長壽（同）大河原武雄（同）引地正雄（同）東海林ゆき（好間）富田たけ（同）△三部正一（小名濱）田中きみえ（內鄉）尾澤濱吉（同）大和田のぶ（豊間）關谷良平（赤井）大和田浪（同）

△優良徒弟大山博（平）遠藤則男（同）小堀茂（同）、渡狩芳子（湯本）鵜川きよの（內鄉）猪狩ふじえ（同）鈴木武（同）本多一榮（同）小野富雄（同）金成誠（好間）同栄花利子（小名濱）

鐵工青年校で記念演習

二百余名參加する

平鐵工組合青年學校では十九日創立記念攻防演習を實施することに決定

當日二百三十餘名の生徒が未明を期して集合、福島聯隊區司令部高成田中佐統監藤浪教官指揮の下に二隊に分れ、神谷地內で行動を起し午九時頃演習終了、平商業學校で閱兵分列式を執行する

平市慶弔錄

【出生】平市古鍛冶町九十一番地神谷英一さん三男直克さん

【婚姻】△栃木縣宇都宮市戶祭町平井恒重（三九）さんと平市三丁目十三番地溝口ヤス（三六）さん△草野村神谷猪狩萬吾（三六）さんと平市番匠町二十九番地恩田ツヤ（三四）さん

【出生】△平市平窪字高儘三十七番地小野平（三一）さんと平市立町十六番地瀨谷チヨノ（三五）さん

【死亡】平市南町十九番地加藤隆義（一）△平市鎌田町三十五番地菅野サキ（八一）△平市古鍛冶町八萬地八卷榮子（四）

第三十三期決算報告書

昭和十五年十一月卅日現在

資產之部

株主勸定　五二、一三七、五〇〇
固定資產　一、九八、九三三、一〇〇
投資　六、六九一、一六〇
流動資產　一〇三、四九一、一六五
雜勸定　三一、三九一、三一〇
負債之部
株主勸定　一、四六、五〇〇、〇〇〇
短期負債　五九、三四〇、三〇〇
雜勸定　七三四、三五〇
利益　四、四五三、六三五
利益金處分書
當期純利益　五、三三四、五〇〇
前期繰越利益　三、三七一、二三五
之ヲ處分スルコト
次ノ如シ
法定積立金　二、七四〇、〇〇〇
別途積立金　五、〇〇〇、〇〇〇
慰恤基金　五、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金　四、一〇〇、〇〇〇
配當金　三三、八四一、九〇〇
後期繰越金　一三、九三五、六三五

昭和十五年十二月二十七日

平電力株式會社

孫報

今晩　十南の風曇り小雨
明日　は初め北西の風稍强曇り時々晴れ
十一日

滿潮　前四、三五　干潮　六、四五
後三、五〇　後一〇、〇五

【婚姻】△平市平窪字高儘三十七番地小野章平さん長男宏一郎△平市平窪字酢釜三十五番地草野一二郎窪子さん

【死亡】平市平窪字高儘三十七番地小野平（三一）さんと平市立町十六番地瀨谷チヨノ（三五）さん

【死亡】平市南町十九番地加藤隆義（一）△平市鎌田町三十五番地菅野サキ（八一）△平市古鍛冶町八萬地八卷榮子（四）

▲一白　總決算に當り思ひしより收益の舉がる吉日

▲二黑　短慮を愼しみ怒氣を戒め靜かに當日を送れ

▲三碧　計畫意外に進展し樂しき春を迎ふ準備成る

▲四綠　埋火も掻き起せば熱氣あがる氣を引き立てよ

▲五黃　庫崩れに路を塞れたる如し急が宇他に廻れ

▲六白　悲しみの中にも喜びの含まるる日氣落するな

▲七赤　氣を締めて實貞に働けば思ひの外安心を得

▲八白　諸事熱心なれば案ぜしより功績の舉がる日

▲九紫　日頃の實直は衆人の好感に惠まれて發達す

謹告

今回其筋の慫慂と各業者新体制下に即應して市內六タクシーを合同敍し營業所を平驛前元昭和タタクシーに設置致し營業開始仕り候

從つて今後は一切當營業所以外に於てはタクシーの御用命は申受けざる事と相成り候倍舊の御引立御願申上候

昭和十六年一月十日

有限會社　平合同タクシー　電話三四三番

御得意樣各位

小兒科　內科

平市南町（電五五番）

酒井醫院

◎入院隨時◎　醫學博士　酒井保

便利で經濟な　日下家政婦會の派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です

平市一丁目三一番地（電話七二三番）

日下家政婦會　會長　日下すい子

會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお敎授致します）

父與五郎儀八十八才にて三日午後五時死去致候間此段御通知申上候

追而葬儀は來る十三日午後一時自宅出棺天理敎墓地に埋葬可仕候

常會の申合せに依り花輪供物等御辭退申上候

尙引物は一切仕らず候間御承知願上候

昭和十六年一月八日

子　三浦桂次郎
孫　三浦富美男
外　親戚一同
內藏悌次

田町常會長